



食
め
ば
星

夜
の
美

R18
Adult Only

AETHER × WANDERER

GENSHIN IMPACT UNOFFICIAL FANBOOK

空×放浪者

成人向け二次創作同人誌

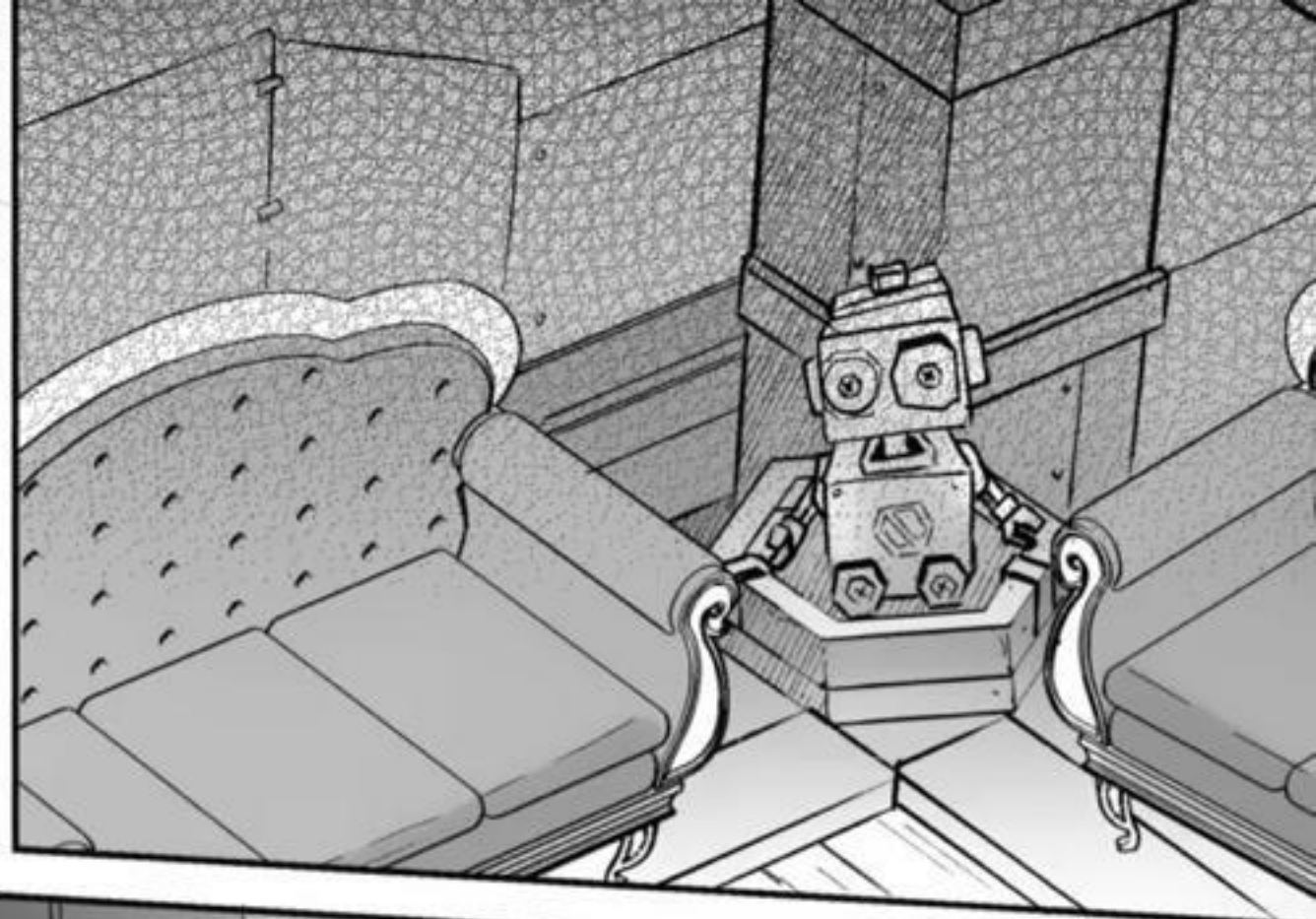
夜の宴

喰めば星













とぼけなくていい。
ここまでしても
僕に手を
出してこないだろう

まったく
わかりやすいね、君は

僕相手じゃ
キス以上の事を
する気にならない？

そんなわけ…

じゃあ何を恐れてる？
どうせ初めてな
訳じゃないんだろ

ム…

……

「どうせ」って何だよ…

……ほら、
もう寝よう

…そう。
君に話す気が
ないなら別に
いいよ

俺だって本当は

お兄ちゃんは、
番のこと^{つかい}どうするの？

…どうするって
言われても…
今は別にいいかな

そう言っても
結局どこでも
見つけない
ままじゃない

それは
蛍もじゃん

私はいいの

…でも

いつか本当に
離れたくないと
思った人がきたら、
考えなくちゃ
いけないよ。

…俺だって、

こうして蛍と
旅をしてるだけで
十分だ

でも、やっぱり
その人を“変えてしまう”
ことになるから
簡単に決められない

それに、
好きな人には
自由なまままで
いてほしいし…

…お兄ちゃんの
ことだから
それだけじゃ
ないでしょ

…まあ
それは…
うん…

うん…

…怖いのかも。
拒否されるかも
しれないことや

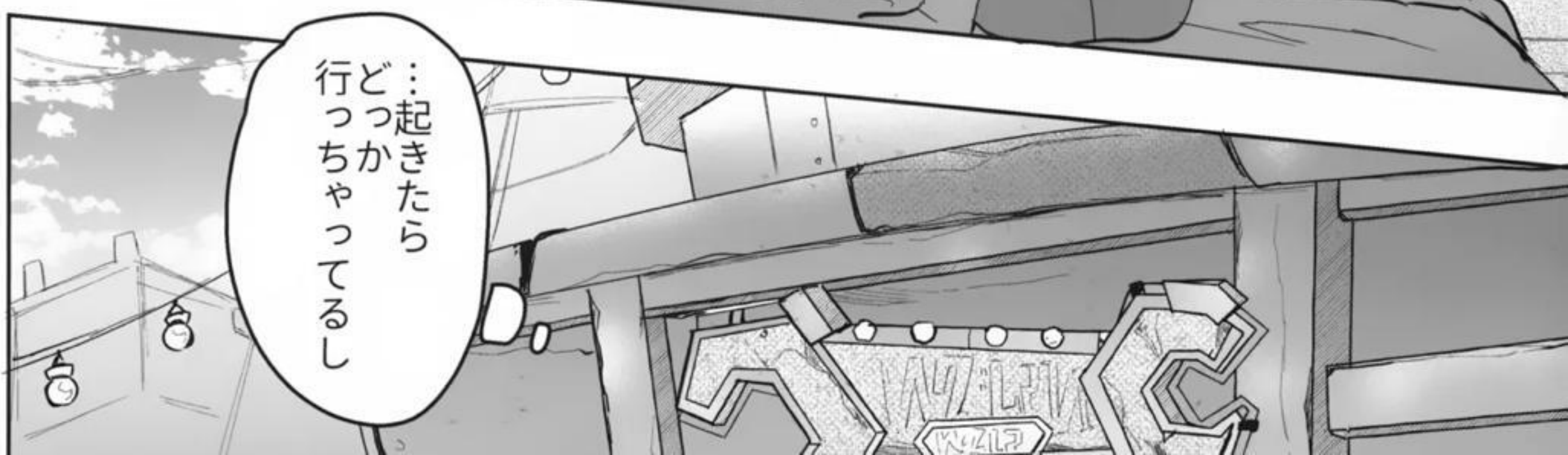
…選択をさせた後に
もし後悔されたらつて
思うことも

…そんなこと
言っても
仕方ないよね、

私たちは
そういうものなんだから

あ、言っておくけど
料理と家事できて
面倒見が良くて
私たちと同じくらい
強い子じゃないと
許さないからね！

そんな人
いるかなあ…







急に
ごめんね

ううん！
旅人と話せるの
嬉しいよ！

今日は笠つちと
一緒じゃないんだね

う、うん…

それでボクに
話したいことって？



…その…
ドウリンはさ

絵本の外…
テイワツトの世界の
存在に“変わる”ことって
怖くなかった？



…きっとこれは
君にしか分からないと
思うんだ

…そうだね。
自分の世界の
外の存在に…

龍から人間の姿に
“変わる”こと…

勿論
不安はあったよ。

でも
雪山のドウリン
のこともあるし
何よりアルベド
を信じてた

不安よりも
大事な人達…

みんなと
居られる方が
僕には大きかった。
それに

影が■■を想って
したことも、

彼にとっては
選択すら
与えないものだった

変わることは
無理やり
押し付けられた
訳じゃなくて、

僕が
選んだことだから。

俺がしているのも、
同じようなこと
なのかもしれないな…

…ねえ
ドウリン

その選択でもし
この先後悔するような
ことがあったら
君は…

でもその時は
きっとみんなが
傍にいてくれるし、

ほん。

キミや笠つちも
助けてくれる

でしょ？

…うん



ドウリン、
アルベドが
呼んでいたよ

ほんと？
ボク戻らなきゃ

あつ！
ありがとうね
ドウリン！

ずいぶんと
仲が良さそうだね

あ！
笠っち！



…君に話して
おきたいことが
あるんだ



■
■
！



…今まで
さりげなく
そういうことを
避けてたのを
謝りたくって。

…ごめん

…やっぱり
僕の勘違いじゃ
なかったか

俺が普通の
人間じゃないのは
よく知ってるでしょ？

…それと
何か関係が？

俺と螢はね、
生涯でたった1人の
伴侶を選んだけど

その相手は
俺達と同じように
『外の世界』の
存在になるんだ

…それは、
世界を渡れるようになる
ということ？

…うん、
そうになると
簡単には死ねないし

数千年、下手すれば
数万年
生きることになる…



それこそ
永遠みたいなものだ



俺の意思とは
関係なく好きな人に
そんな呪いみたいなものを
押し付けてしまう。

そういう
存在なんだよ、俺は



だから
どの世界でも
そういう相手は
作らないで
家族二人だけで
生きてきた

好きな人には、
自由に生きて欲しいから



：そう、
君の本質は
理解したよ

だからセックスを
避けていたのかい

そう、です…

結びつきが
強くなると相手を
もう離すことは
できなくなるから…

「セックスは君の本質」
「俺の」



へえ？
“好き”だの“愛してる”
だの散々
僕に言ってきたけど、

このまま最後まで
一線を越えるつもりは
なかったってことかな

ごめん…
こうやって
君を困らせるなら、

好きだって
伝えるべきじゃ
なかったのかもしれない。



でも、
我慢できなかった。
俺は■■■のことが好きだ



俺の番になるってことは
テイワットの外の存在に
変わってしまうんだよ



：■■が
俺と生きるのを
選んでくれるなら
嬉しい。

：でもこれは
大事な事だし
今すぐじゃなくて
よく考えて……



…だったら、

別に
いいじゃないか……



コアを預けることや
「死」そのものは
怖くなかった。



…あの時、
サンドローネに、



ただ…

君と
会えなくなるかも
しれないと思ったら

…怖かったんだ



■
…

だから僕はもう
君を欲しがることを
我慢しない。

後悔は
したくないからね



それにあの時だって
君を信じて命を
預けたんだ。

“変わってしまう”
なんてそれと比べたら
大したことはないだろう？



だから、空

彼のこの選択が
未来でどうなるか
だなんて、
俺にもわからない

僕を君の
たったひとりにしてくれ

でも
■ ■ とならきつと、

…うん。
君を俺の番に
させて、■ ■ ……



…ずっと抱きたかったよ。

んっ♡

『そういえば■■さ、
『僕相手じゃ
そんな気にならないのか』
って言うってたでしょ？』

うん…？

んっ♡

でもできないから
君を想って
一人でしてた

んっ♡
んっ♡



…我慢する
くらいなら

もっと前に
教えてくれれば
よかったじゃないか

…そうだね。

君に俺との運命を
押し付けるのが
怖かったんだ。

俺は寿命が
長いから性欲なんて
全然なかったはずなのに













■は
気付いてないと
思うけど...

普段から君の胸が
見えそうになる度
俺すつごくドキドキ
してたんだからね...

...ふうん...
そんなにいつも
僕ばかり
見てるんだ...

照れているの
かわいているの...

ん...

あ♡

あ...

こ、これやだ...♡
そら...だめ...

ん...
乳首いじるのダメ?

あ...

んうっ...♡

やっ...

ん...♡
ん...♡









わかった…

ドキ

頑張って優しく
するけど…
嫌な感じがしたら
言ってね

ドキ

ドキ

ドキ

痛みだったら
少しくらいなら
我慢できるよ…

いゝ♡

いゝ♡

痛くちや
駄目なんだってば

ドキ

一本入れるからね…

ドキ

ん…

ふっ…

アチ♡

アチ♡

アチ♡

ん！





これって
いったい...のかな?

ほら...♡

っ...
きみ...随分と
余裕そうじゃないか...

そんなことないよ





…全部
入ったよ…



もちろん…

君に
したかったこと…



…セックス
しちゃったね…
俺たち…

は、ふうっ…♡
これで終わりじゃ
ないだろう…



これからは
全部できる…





■...？



もっと呼んで

試してみれば...？



素直じゃないなあ...

■ ■ ♡ 好き...
大好き...



はぁ...♡あん...



■...♡



この先、
何千、何万回と呼ぶ
君の名前

たったひとりの
俺の番の名前



さっきから♡
そこ♡

やあ…♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

■■も腰
動いてるけど…

なんっ…♡
なんで…?

擦られる、
とおっ…♡
へんな声♡
でるう…♡

俺しか
聞いてないから
大丈夫だよ

それに…







そら…？

どうしたの…？

君とこうなるまで
色々あったなって
思ってただけ♡

何それ…



あっ♡

その腰の
動かし方、
だめ…♡

奥まで入れて
ぐっぐっ…♡
てするの嫌？

■の中につ…♡
入ってる実感が
するから…
もっとしたいな…





：本当に体調とか大丈夫？

君、朝からそれ何回聞くんじゃない

だって…俺の番になっただよ？

変わった、と言われても自分じゃ実感なんてないんだけどね…

相変わらず人形のままだ

完全な人間になっただ訳でもないし

それでも、君は俺の好きな人だ



え？



…僕としては
今までと
変わらなさ過ぎて

君の番とやらに
なれたのかね
疑問だけどね

アハ



俺にはわかるよ



…ならいいけど



正真正銘
■は俺の
番だってこと！

…空

君は相手に永遠のような呪いを押し付けて存在だと言っていたけれど

今まで僕に黙ってた理由はそれだけじゃないんだろう？

…うん

もしも君が俺を受け入れて『外の世界』の存在になったあとで、

俺を選んだことを後悔したら、と
思うと怖くて
伝えられなかった。

…ずるいよね
俺って

君の気持ちには
考えなかったくせに、
君に後悔される事
ばかり怖がってたんだ

そういうもの
なんじゃない？
人間っていうのは

僕だって君の都合も知らずに
恥ずかしげもなく
迫ってたんだしね

…それに、
もしもこの先で
後悔することがあっても



：僕には
君がいるんだから
何も怖くはないよ



うん！
俺もいるし
パイモンもいるし
ナヒーダやスメールの
皆もいるしドゥリンも
いる！

あつ：
あといつか絶対
蛍とも会ってほしいし
蛍もいる！

：流石に
多すぎないか？

夜の実 食めば星

印刷：金沢印刷

2026/6/28
レパラシオン/省吾
elsio@infoseek.jp
pixiv=226794 X=reparation0

